

とやま さきたま まつ  
戸山降り 幸魂 奉る 神楽坂  
ほんて かむ き  
舞ひも本手も 神聞こし召せ

令和四年五月六日

大中臣正比呂



新宿の陸軍戸山学校には音楽隊もあったのだが、今は公園になっている。その戸山を降りれば神楽坂に出る。坂道を上下する行軍演習の日は疲れ切っていたであろう。当時、剣道教官だった父は五食を採ったと言う。それでも神楽坂は楽しかったらしく、下戸の父は白湯を徳利に入れて、お座敷で遊んだらしい。坂の街には「幸本」などの料亭があつて、今も花街は賑わっている。神様に奉納して祝う、初夏の「神楽坂をどり」が待ち遠しい。